



【学都仙台・宮城サイエンス・デイ】
協賛プログラム

鼎談「白神山地の今昔－世界遺産の保全のあり方」

日時：7月4日（土）14:00-15:30

会場：東北大学片平さくらホール2階

主催：東北大学 生態適応グローバルCOE・環境機関コンソーシアム

対象：大学生・高校生・若手研究者・教員ほか

白神山地が世界遺産に登録されるまでの過程において、当時の森林行政官、自然保護団体のリーダー、生態学者として実際の実務に携わった生態系保全の専門家をお招きし、今だから言える「科学と社会、政治のせめぎあい」も交えながら、世界遺産をはじめとする生態系保全のあり方について、お話いただきます。次世代を担う高校生、大学生、特に若手生態学者の方々に、豊富な経験をベースとした熱い思いがこもる皆さんからのメッセージ、どうぞご期待ください。

講演者：



大槻幸一郎さん

アジア航測株式会社 代表取締役社長・技術士（森林部門）

1948年新潟生まれ。1970年から農林水産省林野庁勤務。知床半島や白神山地で「森林の伐採か保護か」の問題に直面。多額の借金をかかえた国有林の改革では労使交渉の矢面を担当。1998年長野営林局長。

2001年退官後、千葉県堂本知事のもとで副知事を5年間務める。2006年よりアジア航測株式会社 経営管理本部、同取締役 上席執行役員 経営管理本部技師長を経て、現職。著書『千曲川ひとり歩き旅』『新米副知事オタオタ日記』など。



市田則孝さん

国際環境NGOバードライフ・インターナショナル副会長・同 バードライフ・アジア会長

山階鳥類研究所を経て日本野鳥の会で自然保護、渡り鳥保護の国際協力に従事。2002年、野鳥保護や環境保全NGOの国際ネットワークであるバードライフ・インターナショナル（本部・英国ケンブリッジ）の東京事務所

を開設し、アジアの関係団体と環境保全プロジェクトに取り組む。2007年、同副会長に就任。著書『自然発見ガイド 野鳥—しくさでわかる身近な野鳥』『野鳥調査マニュアル—定量調査の考え方と進め方』ほか



中静 透さん

東北大学大学院 生命科学研究科教授・理学博士
東北大学生態適応グローバルCOE拠点リーダー

1956年新潟生まれ。森林総合研究所主任研究官、国際農林水産業研究センター主任研究官、京都大学生態学研究センター教授、総合地球環境学 研究所教授を経て、現職。専門は森林生態・植物生態学で熱

帯林や温帯林において、森林のうごき、樹木の生活史、生物多様性が維持されるしくみ、減少してゆく原因、減少することで失われる生態系サービスなどについて、いろいろな分野の研究者と共同で研究をおこなっている。著書『森のスケッチ』『生物多様性はなぜ大切か』ほか